2019.05.04

大学ランキング

小嶋祥三

「THE（Times Higher Education）世界大学ランキング」の 2019 年版をみた。それによると、東京大学が世界 42 位、アジアでは 5 位、日本では 1 位だった。京都大学は世界 65 位、アジア 10 位、日本 2 位だった。評価の仕方について書かれていたが、それには触れない。東大、京大もシンガポール、中国、香港の大学よりランクが低いのが現状なのだろう。わたしの専門領域では中国人の論文がやたらと多いので、このランク付けは肯ける。

「THE 世界大学ランキング」日本版なるものがある。これはベネッセ・コーポレーションが主体になって作成した日本国内の大学ランキングのようだ。「教育力」に焦点を当てて評価しているそうだ。それによると、2018 年は東大と京大は首位に並んでいたが、2019 年には京大が東大を抜き 1 位になったという。この評価は両大学の「国際性」の差で、京大の方がその評点が高かったことによる。詳しく知りたい方はネットで検索してください。

わたしは京都大学の自由な雰囲気の中で研究者として成長させてもらったと思っているので、京大の評判が良いのは悪い気がしない。ただ、同じ「THE 世界大学ランキング」と銘打っているのに、日本版では東大と京大の順位が逆転するのはどういうことか。評価の項目や基準が異なるのだろう。わたしはこの評価の中に「チパンジーのじゃんけん」の Primate 誌の award や総長賞が含まれていないことを望むだけである。松沢氏はベネッセ・コーポレーションから寄付講座を受けていたので、余計な心配をしているのかもしれないが。